

PDF版無料レポート第3巻

<原因と結果の法則を使いこなそう>

牧村 和幸 著

このレポートは、著作権フリーです。
引用、転用、転載など、ご自由にお使いください。

※このレポートをダウンロードされた方には、メールにてお知らせや
ニュースを配信することがございますので、あらかじめご了承ください。

はじめに

PDF版無料レポートをダウンロードしていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの方と根源法則と気づきの情報を共有したいため、PDF版無料レポート第3巻
〈原因と結果の法則を使いこなそう〉
を作成しました。

どうぞお読みください。

なお、内容は、
今まで牧村 和幸がいろいろなメルマガで紹介した内容をまとめ、
編集して、読みやすくしたものです。
何かのお役に立てれば幸いです。

それでは、無料レポートをご覧ください。

牧村 和幸

1. 原因と結果の法則とは何か

まず、原因と結果の法則とは何か、
というところから、始める必要があります。

原因と結果の法則は、因果の法則、
カルマの法則とも呼ばれてきました。

そして、根源の法則であるため、
たくさんの人達に語り継がれてきました。

最近も、原因と結果の法則に関する書物が
多く出版されています。

すべての人が、この法則を理解し、
実践して生きていくことを願ってやみません。

もし、すべての人が、この法則にしたがって生きれば、
争いは極端に少なくなるでしょう。
また、すべての人が豊かになります。
そして、他に奉仕する幸せを感じながら、
ゆったりと生きていけます。
法律もいらなくなってしまうでしょう。

原因と結果の法則とは、どんなものなのでしょう。
簡単に言ってしまうと、
与えたものだけが、与えられるということです。

反作用の力がはたらき、
必ず、自分に返ってくるということです。

何かを他者に対して行えば、
必ず、自分に返ってきます。
しかも、利子をともなって返ってきます。

まずは、この根源法則が、
この世界に流れているということを、
理解してください。

とてもとても重要な法則です。

2. 原因と結果の法則を使って考える

原因と結果の法則は、森羅万象すべてに等しく作用します。
ですから、万人に通用するし、あらゆる物事に通用します。

何か良くないことが起こった場合、
なぜ、その出来事が起こったか、
普通はいろいろと考えて反省します。

でも、そのまま真の原因が分からないまま、
忘れてしまうことも多いです。
また、考えに考えた結果どおりに改善しても、
何も変わらず、また同じことが
繰り返されてしまうことも多いです。

原因と結果の法則から外れて考えていきますと、
結果や対策も、真理からずれてしまうので、
どうしても改善策が効果のないものになってしまいます。

ですから、何か良くないことが起こったら、
原因と結果の法則にあてはめて考えましょう。
すべての物事は、原因と結果の法則に行き着きます。

たとえば、あなたが信用を失い、大切な人から
見放されたとします。
しばらく、落ち込み、悩むことでしょう。

しかしながら、そんなときには、
原因と結果の法則を使って考えてみます。
なぜ、信頼を失い、見放されてしまったのか。

一般的に考えると、信頼を失うような行動を
とったことが原因です。
期待を裏切ったとか、約束を守らなかったとか。

でも、原因と結果の法則からみると、
これは、過去に、あなた自身が、
誰かに対して信頼を無くし、見放したことに
原因があります。
それが返ってきているのです。

ですから、改善策としては、
まずは他者の信頼を失わないように、
期待を裏切らないこと、約束を破らないことです。
さらに、あなた自身が、他者を信頼し続け、
そう簡単には他者を見放さないようにすればいいのです。

難しいことではありますが、他者を簡単に
見放さないことを心がければ、あなた自身も、
原因と結果の法則により、そう簡単には
見放されない、信頼を失わない人物になっていきます。

他者を信頼し続けることができれば、
あなたも他者から信頼され続けます。

もちろん、実際に実行するのは、なかなか難しいことです。
ここに、人間修行の大変さがあります。

より、寛容にならなければ、
より、根本から他者を信頼する心を養わなければ、
うまくいかないでしょう。
人を心から信頼する心を養う必要があります。

しかしながら、約束を破ったり、ルーズな人達が
周りに多い場合は、他者を信頼し続けることは難しくなります。

そこで、あなた自身が信頼に足る言動をとっていくことが
求められます。
あなた自身が信頼に足る言動を取り続けていると、
原因と結果の法則により、あなたの周りの環境は、
信頼に足る人達の多い環境に変わっていきます。

そうなる、人を信頼することが、
より簡単になっていきます。

結局は、どうすればいいのかというと、
他者を信頼し続けること、
そして、自分自身が信頼に足る言動を心がけていくこと、
この2つが必要になってくるのです。

このように、原因と結果の法則から答えを導くと、
とても効果的な解決策が見つかります。

一度、試してみてくださいね。

3. 原因と結果の法則を人間関係に応用する

原因と結果の法則は、森羅万象すべてに等しく作用します。
ですから、万人に通用するし、あらゆる物事に通用します。
もちろん、人間関係にも応用できます。

人間関係に応用する場合は、まず第一に、
あなたは相手にどうしてほしいのか、
どうしてほしくないのか、
これをはっきりさせる必要があります。

みな、他者から好かれない、
傷つけられたくないと思っています。

でも、それ以外の内容になると、
人それぞれ若干の違いがあるので、
まずは、自分はどうしてほしいのかを、
はっきりとさせる必要があります。

そして、次に、自分がしてほしいことを、
自分からすすんで、周りの人にしていくのです。

どういうことかと言いますと、
自分のしてほしいことを、
まずは、自分から行うということです。
そして、行い続けるということです。

そうすると、しばらくしてから、
原因と結果の法則により、今度は、
あなたがしてほしかったことが周りから返ってきます。
これが全ての根本です。
この行動を大きく展開した人が、成功者となっていきます。

どんどんと繰り返していくと、
あなたがしてほしかったことが周りから

どんどんと返ってきます。

また、逆に、人間関係において、
自分がされたくないことは、
他者にもしないようにしましょう。

これをきちんと続けていけば、
他者から、自分がされたくないことを受けることが、
どんどんと少なくなってきます。

もちろん、ある程度の時間がかかりますので、
根気が必要です。
でも、必ず返ってきますので、何度か繰り返していくと、
法則に対する確固たる信頼が湧き上がってきます。

人間関係に原因と結果の法則を応用する場合も、
原因を管理してしまえば、結果は後からついてきます。

ですから、自分のしてほしいことをはっきりさせ、
自分から周りに、そのことを行っていくのです。

そして、自分のしてほしくないことをはっきりさせ、
自分から周りに、そのことを行なわないよう
気をつけていくのです。

きちんと実践さえすれば、
とんでもないスピードで、あなたの人間関係は
良好になっていきます。

まずは、試してください。
そして、コツをつかんでください。
実際に返ってくるので、最初の内は驚くと思いますよ。

4. 世の中はなぜ厳しいのか

世の中は、なぜ厳しいのでしょうか。

それは、原因と結果の法則が流れているからです。

自分のしたことが、必ず自分に返ってくるからです。

原因と結果の法則は、とても厳しいものです。

必ず、自分に返ってきます。

家柄や人種、身分など、

まったく関係ありません。

自分のしたことだけが、ただただ返ってくるのです。

このように、この世界を支配している

根源法則が厳しく作用するので、

この世の中は、こうまでも厳しいのです。

ですが、原因と結果の法則以上に

厳しいものではありません。

原因と結果の法則に慣れ親しみ、

その厳しさに触れていけば、

世の中はそれほど厳しいものとは、感じなくなります。

厳しさの基準を、

原因と結果の法則に置きましょう。

そうすると正確です。

その厳しさの基準は、

そっくりそのまま、世の中でも使えます。

原因と結果の法則を身につけ、極めて行きましょう。

その過程で、世の中は、厳しいものから、

平安で安らげるものへと、変わって行きます。

世の中を厳しいものにするのか、
そうではないものにするのか、
それは、あなたの生き方次第です。

原因と結果の法則にしたがって生きていけば、
世の中はとても生きやすくなります。

逆に、原因と結果の法則を踏み外して生きていけば、
この世の中は、いばらの道を歩むがごとく、
厳しいものとなるでしょう。

5. 収入は社会に対する貢献度

収入は、得よう得ようとしても、
なかなか得られないものです。

しかし、どんどんと与えることを行っていくと、
自然と増えてくるのが収入です。
なぜなら、原因と結果の法則がはたらいっているからです。

収入とは、社会にあなたが与えた価値が、
返ってきたものです。

ですから、収入は、あなたが社会に与えた
貢献の度合いと言えます。
他者への役立ちの量を表します。
収入は、バロメーターと言ってもいいでしょう。

また、社会にどんどんとサービスや価値を与えていると、
しばらくは、返ってこないように見えますが、
少し遅れて、必ず返ってきます。

でも、与えたものが、価値の低いものなら、
やはり、それ相応のものしか返ってきません。

収入はあなたの社会への貢献度を表してくれる、
バロメーターとなってくれます。

あなたが社会にサービスをした分、
社会はあなたにサービスをしてくれます。

6.うわさを管理する

よく観察しているとわかることですが、
人間関係においては、うわさがついてまわります。

いいうわさが流れればいいですが、
たいていは悪いうわさです。

でも、同じ様なことをしていても、
ある人は、良いうわさをたてられ、
またある人は、悪いうわさをたてられる、
という違いがあります。
これはどういうことでしょうか。

やはり、ここにも、
原因と結果の法則がはたらいています。

自分のやったことは、
必ず自分に返ってくるのです。

人のうわさをすることが好きな人は、
自分もうわさされていることに気づきましょう。

人の悪口を言う人は、
自分も悪口を言われていることに気づきましょう。

人を良く言う人は、
自分も良く言われていることに気づきましょう。

必ず、自分に返ってきます。
これは、厳然たる法則です。

これらのことに気づけば、
うわさは管理できます。

まず、悪口は、一切やめましょう。
陰口もやめた方がいいでしょう。
自分自身があとで陰口を言われることになるだけです。

できるだけ、他者のいい点を見つけ、
いい点を話しましょう。

できるだけ、うわさや陰口はやめましょう。
もし、うわさをしないといけない場合でも、
いい点のみをうわさしましょう。

人の欠点や悪い点を考えないようにしましょう。
人を憎まないようにしましょう。
悪く考えただけでも、悪いうわさとして、
はね返ってくる場合があります。

このように、原因と結果の法則をうまく活用しますと、
うわさもある程度は管理できるようになります。

7. 十分の一の原理を使う

原因と結果の法則から派生した、
十分の一の原理というものがあります。
大切な原理ですので紹介します。

これは、収入の十分の一を寄付し続けることによって、
あなたはどんどん豊かになるという原理です。

与えれば与えられるという、
原因と結果の法則の応用です。

与えれば与えられるからといって、
いきなりすべてを与えてしまうと、
当面、生きていけません。

なぜなら、原因と結果の法則が結果を結ぶのは、
結構、時間がかかるからです。
ある程度の時差があります。

内容によっては、とても早く返ってくることもありますが、
たいていは、ある程度遅れて返ってきます。

ですから、収入のどれくらいを与えるのか、
バランスも必要になってきます。
過ぎたるは、及ばざるがごとしです。
行き過ぎると失敗します。

そこで、昔のヨーロッパで広く行なわれていた方法は、
収入の十分の一を寄付し続けるというやり方です。

十分の一という数字にこだわる必要はないのですが、
十分の一というのが、一番続けやすく、
バランスのよい配分でしょう。

昔のヨーロッパの人たちは、
収入の十分の一を教会に寄付することによって、
自らも豊かになっていきました。

収入の十分の一を寄付し続けましょう。
十分の一という数字にこだわる必要はありませんが。

相手は誰でもいいです。
思い入れのある人、社会に貢献する人や組織など、
相手はいろいろあるでしょう。

他者に与えることによって、
原因と結果の法則により、
あなたは次第に豊かになっていきます。

なぜなら、与えれば与えられるからです。
しかも、利子をともなって。

8. 法則に従っている者を、法則に従っていない者が 攻撃しても失敗する

古代中国の兵法には、道理に従っていない国が、道理に従っている国を攻めると敗れるとあります。

これは、人間関係にも応用できます。
普段から原因と結果の法則に従って生活していきましょう。

そうすると、他者から攻撃されても、
難なくかわすことができます。

なぜなら、原因と結果の法則に従っていれば、
相手が攻撃できないからです。

どういうことかと言いますと、
日頃から、他者を攻撃したり、
他者を傷つけたりしていない人は、
負の原因がないので、
結果として、攻撃されることはありません。

ですから、もし、相手が攻撃しようとしても、
攻撃できないという状態になります。

言い換えれば、原因と結果の法則に守られているのです。
また、原因と結果の法則にしっかりと従って生きていれば、
そもそも攻撃をしかけられたり、
争いに巻き込まれたりもしなくなります。

攻撃を受けたり争いごとが発生するなら、
まだまだ精進が必要です。

原因と結果の法則から、まだ少し外れていると
考えられます。

道理に従いましょう。

周りは、あなたにひとつも手を出すことはできなくなります。

もし、負の原因がまったく無いところまで精進できれば、
たとえ戦場に行ったり、暴力の真っ只中に行っても、
まったく無傷で、帰ってくることができます。

もちろん、その際に、自分から攻撃してしまえば、
負の原因が新たにつくられますので、
無傷では帰って来れなくなりますが…。

9、人に好かれるためには

人に好かれると物事がとてもうまく運びます。
また、人に好かれると、人生はとても楽しいものです。
では、どうすれば人に好かれるのでしょうか。

この世界には、原因と結果の法則が流れています。
ですから、あなたの行ったことは、
必ずあなたに返ってきます。

この法則を応用すれば、あなたが人に好かれるには
どうすればいいか、答えが出てきます。

あなたが、まずは人を好きになればいいのです。
どんどん人を好きになりましょう。
人を愛することは、良いことです。

あなたにも、すぐに返ってきます。
あなたも好かれるようになっていきます。
まずは、あなたから人を好きになっていきましょう。

たとえば、恋愛などでも、
好きになった方がいいのです。
待ってても仕方ありません。

また、好きになってもいいのかと
迷う必要はありません。
躊躇する必要はないのです。

ただ、既婚者やパートナーのいる人は、
浮気はできるだけしない方がいいと思います。
なぜなら、あなた自身にも返ってきて、
あなた自身も浮気をされることになるからです。

しかし、まずは、自分から人をどんどん好きに

なりましょう。

いわゆるモテる人をよく観察してみましょう。

その人たちは、いつも誰かを好きです。

いつも他者を愛しています。

それが、その人にも返ってきているのです。

たとえば、美しさの輝きを内面から放つ女優さんなど、

素晴らしい美しさで周りを魅了するときは、

たいてい好きな人がいるときです。

必ず、そんなときは、意中の人があります。

それが、返ってきているのです。

まずは、自分から、人を好きになりましょう。

どんどん好きになりましょう。

あなたにそれが返ってきて、

たくさんの人から好かれるようになっていきます。

さらに成長してくれば、

人間として人類としても愛していきましょう。

10、自分の周りには、過去の自分がいる

人間関係において、あなたの周りの人たちは、
あなたに対していろいろなアクションを起こしてきます。

親切にしてくれたり、
感謝してくれたり、
声をかけてくれたり、
怒ったり、
文句を言ってきたり、
悪く思ってきたり、
よく思ってくれたり、
食事に誘われたり、
協力してくれたり、
拒絶されたり・・・などなど。

いろいろありますけれど、
周りの人たちは、あなたに対して、
いろいろなアクションを起こしてきます。

生きていて、生活をしていれば、
当たり前のことです。

でも、よく観察していると、
あることに気づくはずです。

「あれ、あの人は私にこのようなことをしたけれど、
以前、私も誰かに同じ様なことをしたよなあ」と。

そうです。
過去にあなたが、他の人にやってきたことが、
そっくりそのまま、周りの人から、
あなたに返ってきているのです。

内観を行っていると、嫌というほど、

そのことに気づいてしまいます。
原因と結果の法則が厳格に作用しているからですが、
あなたが他者に対して行ったことは、
必ず、あなたに返ってきます。

同じ人からではないときもありますが、
必ず、誰かから返ってきます。

日本のことわざには、
「人のフリ見て、我がフリ直せ」
という、とても興味深いことばがあります。

自分の欠点や、至らない点、
他者に対して思いやりを欠けていたところなど、
完全ではない部分が、あなたにそっくり返ってくるのです。

さて、どうすればいいでしょうか。

もし、あなたが、他者からうれしいこと、
喜ばしいことを受けたなら、
それは、過去の自分が他者に行ってきたことです。
その行為は、もっともっと行っていきましょう。

逆に、あなたが、他者から傷つけられたり、
陥れられたりしたなら、
それは、過去の自分が他者に行ってきたことです。
今のままでは、繰り返しあなたに危険が降りかかってきます。
すぐに、そのような行為は改めましょう。
良い行為へと、切り替えましょう。

このように、他者から自分の至らない点を見て、
いいものは伸ばし、悪いものはいいものに変換しながら、
生活していきましょう。

そうすることによって、あなたは、
結局は他者のみならず、自分自身をも

大切にしていることになるのです。

そして、自分自身を守るために他者に配慮し、
他者に思いやりを向け、他者を傷つけないよう
注意していく過程で、あなたは愛の人へと
大きく成長していくことでしょう。

1 1、固定観念を捨て、根源法則から判断する

世の中には、常識というものがあります。
常識というものは、世間一般の通常の考え方というもので、
多分に固定観念を含んでいます。

でも、常識は、絶対的なものではありません。
時代の流れによって、どんどん変わっていきますし、
国によっても、常識は全く違ってきます。

ですから、常識とは、社会生活を営んでいくための、
その地域、その時代での標準的な考え方や目安なので、
絶対に従わなければならないものではないのです。

あくまでも、その常識に従うと、
生きていく上で便利であるというだけのことです。

常識は、生きて行く上での、
たいへん便利な情報ツールなのです。

しかし、常識に振り回されると苦悩がはじまります。
トラブルが生じます。
常識というものは、あまり深刻に考えない方がいいでしょう。

どんどん変わるし、マスコミに簡単に
つくりかえられたりするからです。

できれば、根源法則から考えるクセをつけましょう。
なぜなら、それは普遍のものだからです。
過去にも通用してきたし、未来永劫、通用するものです。

根源法則をもとに思考を組み立てていくと、
考え方そのものが、真理にしっかりと根ざしたものとなります。

そうすると、とてもたくさんの常識の嘘に気づきます。

固定観念も、ガラガラと音をたてて崩れていきます。

根源法則をもとに考えていくと、
今まで常識と言われてきたけれど、
根拠がないじゃないかとか、
間違った常識が多いじゃないかとか、
たくさんすることに気づきます。

常識に振り回されないようにしましょう。
常識は、生活していく上でのツールとして、
うまく利用していくべきものです。

常識は、多くはその時代や国、地域でしか
通用しません。
さらには、間違った常識もたくさんあります。
間違った常識には、自分を犠牲にしてまで、
従う必要はないのです。

根源法則から思考を組み立てなおしましょう。
そうすれば、真理に根ざした知識を生み出せます。
そして、いつの日か、それが常識となるでしょう。

12、全ての人を許せるようになるろう

人には誰も、許せないことがあります。
例えば、過去にある人にやり込められて、
どうしても許せないとか、
ある人にだまされ、どうにも許せないとか…。

許せないことはたくさんあります。
そして、そういった感情は、
人間として、自然なことです。

しかし、この世界には、原因と結果の法則が流れています。
それを厳粛に受け止めると、
他者を許せるように成長していく必要があります。

なぜなら、他者を許さない人は、
自分も許してもらえないからです。
必ず、自分に返ってきます。

どうしても許せないことは、仕方ないと思います。
しかし、少しずつ、許せるようになっていきましょう。

そうすると、あなたも次第に、
周りから許されるようになっていきます。

他者からの仕打ちは、以前あなたが誰かにしたことが
返ってきています。
そのことを理解すると、他者を許す心が湧いてきます。

できるだけ多くを許しましょう。
それが難しいことは、私も十分に分かっています。

しかし、少しずつでいいので、
許す心を育てていきましょう。
許すことができれば、あなたも許されます。

そして、大きくて広い心を
手に入れることができます。

大きくて広い心を手に入れれば、多くの人達が、
あなたを慕い、集まってくることでしょう。

それはまるで、大海に流れ込む川の水のように。

13、根本を放っておいては物事は解決しない

生きてると、さまざまな問題が出てきます。
しかし、問題の原因をつかみ、
根本的な部分を変えないと、問題は解決しません。

たとえば、草を切っても、
根が残っていれば、また生えてきます。
根を引き抜くまでは、同じことが繰り返されます。

さて、我が身にふりかかる問題の原因は全て、
自分の過去の思考、感情、行動にあります。

それがそっくりそのまま
自分に返ってきているのです。
原因と結果の法則が作用しています。

すでに行ってしまったことが原因となり、
結果が返ってきている場合は、どうすることもできません。
我が身に受けて、解消するしかありません。
忍耐で切り抜けましょう。

そして、さらに新たな負の原因をつくらないように、
注意しましょう。
できることはそれだけです。

新たな負の原因をつくらぬことに、
しっかりと注意していれば、
次第次第に、環境が好転していきます。

14、従うべきルールの優先順位

世の中には、様々なルールがあります。
そのルールには、どのような優先順位があるのでしょうか。

- 1、原因と結果の法則
- 2、憲法
- 3、法律
- 4、条例、規則
- 5、会社や組織のルール
- 6、家庭のルール

このようになるのではないのでしょうか。
原因と結果の法則は、憲法よりも上位にあります。
国連の採択する各種ルールよりも上位にあります。

原因と結果の法則の上はありません。
原因と結果の法則が最上位にあり、
宇宙そのものが、その法則に支配されています。

原因と結果の法則に従っていれば間違いありません。
最も優先して守っていきましょう。

そして、次は、憲法や法律、条例や規則です。
みんなで頭をひねって作ってきたルールです。
刑法の罰則などもありますので、
憲法違反、法律違反、条例違反、規則違反にならないように、
よくよく注意しましょう。

その上で、会社や組織のルールを守っていきましょう。
社内ルールでおかしなものが結構ありますね。
明らかに根源法則とずれていたり、法律違反のルールであれば、
変えていく必要があります。

さらに、家族間でのルールですが、

これは家庭ごとに違いますので、
とんでもないルールや家訓などがあります。

でも、原因と結果の法則にあわないルールや、
法律違反となるルールは、守る必要はありません。

早いうちに変えてしまいましょう。

15、うまくいったときは全て周りのおかげ

何かがうまくいったときは、
自分の努力もありますが、
多くは周りの人達の協力があったので、
うまくいったのです。
周りに大いに感謝しましょう。

何かがうまくいかなかったときは、
すべて自分のせいです。
自分の努力が足りなかったのです。
現状認識が甘かったのです。

実際には、周りのせいでうまくいかなかったり、
自分のおかげでうまくいったと
思いたくなる時もあります。

でも、そんなときでも、物事の奥深く、
本質を見抜けば、理解できるでしょう。
うまくいけば、周りのおかげなのです。
一人の力でできることなど、限られています。
周りに感謝しましょう。

また、うまくいかなかったら、自分の責任なのです。
周りのせいではありません。

うまくいったとき、周りに感謝すると、
周りの人達はうれしくなって、
さらにあなたに協力したくなります。

うまくいかなかったとき、
自分の責任と考えると、周りの人達は、
あなたに対して、なかなかしかりとした、
信頼のおける人物だという感情が湧き、
さらにあなたに協力したくなります。

また、原因と結果の法則により、
うまくいけば自分のおかげ、うまくいかなかったら
他人のせいだと考える人の周りには、
その人から手柄を取り上げ、責任をなすりつけようという
人達が集まってきます。

もし、うまくいかないのは周りのせいだと感じて、
うまくいったのは自分のせいだと感じて、
それは認識の誤りですので、周りに感謝し、
自分に責任を引き受けていきましょう。

そうすれば、原因と結果の法則により、
あなたに手柄をたてさせようとする人達、
あなたに責任をなすりつけるようなことはしない人達が
周りに集まってきます。

そして、全てがうまくいくようになっていきます。

16、善行を行うのに躊躇してはならない

人の心の内には、必ず良心があります。
どんな悪人でも、どんな犯罪者にも、
必ず良心があります。

これは、人間のつくりですから、
良心が全くない人はいないのです。

全くないように見える人がいても、
心の内にある、良心という鏡が、
曇ってしまっているだけなのです。

曇りを拭き取って磨けば、
また、良心は輝き出します。

さらに、現代の日本なら、
良心にあふれる方々がたくさんいます。

最近、生まれてきた子供達や、
これから生まれてくる子供達は、
とても清らかな心の持ち主が多く生まれてきています。
また、どんどんと生まれてきます。

日本全体の波動が、ずいぶんと高く、
調和の取れたものになってきたためです。
そして、そのような子供達が大きくなって、
本当に素晴らしい日本がやってきます。

精神面において、世界をリードできる
素晴らしい国になっていきます。

これからは、良心を素直に、
そのままに表現していくべきです。

今までは、なぜか良心の通りに表現するのが、
何か恥ずかしいことのような風潮がありました。

しかし、原因と結果の法則が理解されるにつれて、
良心のままに行動するのが、当たり前時代になってきます。

そして、社会は、愛にあふれた素晴らしいもの
になっていくのです。

良心のままに行動するくせを、
少しずつ付けていきましょう。
そうしないと、時代に乗り遅れますよ。

良心から出た行動、すなわち善行は、
躊躇せずに、どんどん行っていきましょう。

原因と結果の法則により、
全て自分に返ってくるのですから。

17、家庭と職場はつながっている

よく観察しているとわかることですが、
職場で何かとトラブルが多い人は、
家庭生活でも問題やトラブルをかかえています。

反対に、家庭生活で何かとトラブルが多い人は、
職場でも問題やトラブルを起こしがちです。

なぜかという、家庭と職場は、
奥深いところではつながっているからです。

原因と結果の法則が流れています。
ですから、職場でいろいろな人に対して行ったことは、
必ずあなたに返ってきます。

職場で返ってくればまだいいのですが、
原因と結果の法則は、返ってくる相手が違うことが多いのです。

ですから、職場でのトラブルによる影響が、
家庭に帰ってから、家族から返ってくることがよくあります。

逆に、家庭生活がうまくいっていると、
家族に感謝し、協力し、いい想いをもちます。
すると、それが原因となって、
家族からそのまま返ってくることもありますが、
職場の人たちやお客さんからも返ってきます。

当然、職場の人たちやお客さんからも、
感謝されたり、協力してもらえたり、
よく思われたりして、うまくいくのです。

家庭と職場は奥深くでつながっています。
どちらかのトラブルは、必ず、
もう一方にも影響を及ぼします。

なぜなら、原因と結果の法則が流れているからです。

さらに、結果が返ってくるのが、必ずしもその相手からとは限らず、他の人から返ってくることも多いからです。

家庭も職場の人間関係も、どちらも大切にしましょう。
車の両輪のようなものです。

片方をおろそかにしたりしないようにしましょう。

18、批判や非難が好きな人には、後で危険が訪れる

国家や組織が発展し、より良いものになっていくためには、批判や意見が必要となってきます。

しかし、日常生活においても、個人に対する批判や非難が好きな人がいます。

追求せずにはおれず、人をとことんまで追い詰めます。

そういった方は、後々とても危険な状況に置かれます。なぜなら、原因と結果の法則により、必ず、自分自身の身に返ってくるからです。

批判や非難、他者を追い詰めることが好きな方は、よくよく注意しましょう。

他者を追い詰めることによって、自らが追い詰められ、窮地に立たされ、周りのありとあらゆる人たちから非難されるという、緊急事態に必ず陥るからです。

個人攻撃は止めるべきです。原因と結果の法則を理解し、他者を執拗に追い詰めることは止めましょう。

自分自身を守るためです。

19、誰も見ていなくても、天が見ている

よりよく生きていくためには、
日々の行いに注意しないといけませんが、
特に、誰も見ていないときに注意が必要です。

誰も見ていないので、何をしてもいいのかというと、
そうではないのです。
天が見ています。

原因と結果の法則は、
誰が見ている見ていないに関係なく、
厳格に結果を生じてきます。

ですから、誰も見ていないからといって、
負の原因をつくるようなことをすれば、
必ず自分にはね返ってきます。

誰かが見ているときに注意し、
言動を正すことはもちろん、
誰も見ていないときも注意し、
言動を正しましょう。
思いも正しましょう。

いつも天が見ています。
そして、あなたの言動や想念は、
原因と結果の法則により、
必ず全て自分に返ってきます。

誰も見ていない時こそ、
言動や思考に注意しましょう。

20、怨まれたら、徳で対応しよう

生きてると、他者から怨まれるようなことがあります。
しかし、怨みに対して、怨みで返してはいけません。

それでは、また、負の原因をつくってしまいますので、
同じ事が繰り返し発生してしまいます。

原因と結果の法則をうまく使い、
怨まれたら、徳をもって対応しましょう。

これは、非難し返したり、攻撃し返すのではなく、
そういった人をまずは受け入れるのです。

そして、その人に善行を施してあげましょう。
すると、プラスの原因をつくりますので、
後々わざわいとなって返ってくることもありません。

そればかりか、善行を施しているので、
良いことが返ってきます。

もちろん、実際に実行するのは、なかなか難しいことです。
でも、実行すれば、効果はてきめんです。
できるだけ、実行するようにしましょう。

本当は、怨まれること自体が、
不徳の結果であるのですが、
怨まれてしまったらしようがありません。
善行という最強の武器で対抗しましょう。

普段から、できるだけ人を怨まないようにしましょう。
そうすると、次第に怨まれることはなくなります。

少しでも人に怨まれたなら、
自分自身が過去に誰かを怨んだ結果であることを洞察し、

他者を怨まないように、
気を引き締めて生きていきましょう。

21、店員さんも同じ人間

「お客様は神様です」と言われてきました。
お金を払って買ってもらうのですから、
お客さんは大切にしないといけません。
もちろんその通りです。

しかし、その考え方が当たり前になってきましたので、
店員さんや売る側の人達に、やたらにきつくあたる人がいます。
「俺は客なんだ」という理由で。

そういった人達に、「あなたは何様なのですか」と聞けば、
「お客様だ!」という言葉が返ってくることでしょ。

しかし、店員さんも人間です。
また、売る側の人達も人間です。
客なんだからという理由だけできつくあつたり、
尊大な態度をとるのは止めましょう。

もちろん、品物に瑕疵やトラブルがあったり、
接客態度が悪いなど、店側に非がある場合は別です。

それ以外の時は、理由もないのに
きつくあたらないようにしましょう。

なぜなら、原因と結果の法則が、
厳格に作用するからです。

たとえ客だからと言っても、店員さんに対して行ったことは、
他の人に対して行ったことと同じく、
必ず自分に返ってきます。

原因と結果の法則は、そのような社会的な立場を超えて、
シンプルに作用します。

根源法則にとっては、店員だろうが客だろうがおかまいなしです。

理由もなく店員さんにつらくあたる人は、それが自分に返ってきて、なぜか人につらくあたる環境を作り出します。

また、自分が仕事上で担当するお客さんが、なぜか自分につらくあたるという反作用を引き起こします。

店員さんも人間です。
理由もなくつらくあたらないよう注意しましょう。

原因と結果の法則を理解し、
全ての人に敬意を払って生きていきましょう。

22、起きてきた事には、全て意味がある

生きていると、様々なことが起きてきます。
とてもたくさん現象と遭遇します。

でも、偶然は存在しません。
すべては天のはからいであり、
天の摂理、法則から発生しています。

意味も無く、ただ偶然に起こる現象はありません。
すべて法則どおりに、ある意味で、数学的厳正さをもって、
発生してくるのです。

そして、我々人間に起きてくる現象は、
すべて、その人を成長させるために起きてきます。
霊的な成長です。

偶然にある人に出会ったとします。
「まさかこんなところで」というような所で、
出会うこともあります。

でも、偶然ではないのです。
とても正確な、数学的厳正さで、
そのとき、そのタイミングで、
起こるべくして、起こったのです。

こういった場合は、縁の力が大きく働き、
運命を形作っていきます。

また、例えば、運の悪いことに、
交通事故に遭ってしまったとします。
そして、全治1か月の大怪我を
してしまったとします。

でも、それは偶然ではなかったし、

運命であり、そのとき、そのタイミングで、
起こるべくして起こったのです。

こういった場合は、人の痛みを知り、
さらに慈悲深く、大きな人間になってもらうためであるとか、
次の成功のための布石であったりとか、いろいろな
意味を含んで発生します。

すべては天のはからいであり、
その人を成長させる意味をもって、
発生しているのです。
原因と結果の法則も、厳しい法則ですが、
私達の霊的成長を促すような方向で作用します。

天のはたらきは、何重にも意味を持ち、
複合的な効果を含む完全なものです。
ですから、起きてきたことを大切に理解しましょう。

現象ひとつひとつに、
真理と法則、天の意思や運命が、
深く刻み込まれているのです。

23、複雑なことは分解して単純にすると 分かりやすくなる

世の中の事象は、全てシンプルな事柄が
組み合わさっています。
根源法則が組み合わさって、様々な現象が発生します。

ですから、複雑な事、複雑なものも、
よくよく見てみると、シンプルな事柄が
組み合わさってできていることが分かります。

複雑な現象や問題を、どう解くかと悩んだときは、
分解してみましよう。

分解していくと、いくつかのシンプルな事柄が現れます。
後は、そのシンプルな事柄を、
ひとつひとつ処理していくといいのです。

見目で圧倒されて、
複雑なものはどうにもならないと、
考えないようにしましょう。

複雑なものは、全て、シンプルなものの
組み合わせでできているのです。

なぜなら、この世界を支配している、
根源法則そのものが、とてもシンプルなものだからです。
原因と結果の法則も、とてもシンプルな法則です。

複雑さは、シンプルなものの組み合わせであり、
分解すると、解決方法が自然と見つかるということ、
念頭に入れておきましょう。

24、原因と結果の法則にのっとった生き方

原因と結果の法則にのっとって生きれば、
とても生きやすくなります。

逆に、この法則に逆らって生きれば、
苦しみや辛いできごとが頻繁に起きてきます。

では、どのような生き方が、
原因と結果の法則にのっとった生き方なのでしょうか。

おおざっぱに言うと、次のようになります。

1. どんどん与えていく。
2. 人を傷つけない。暴力はもつてのほか。
3. 人を悪く思わない。
4. 他者に一生懸命奉仕し、良い仕事をする。
5. 人を悪く言わない、陰口を言わない。
6. 人から取らない、搾取しない。
7. 他者から攻撃されてもやり返さない。
(結果が返ってきているだけなので)

以上のようになります。

細かく言えば、もっと多くなりますが、
おおまかな部分では、以上のようになります。

上記内容をきちんと実践すれば、
負の原因を積まなくて済みますので、
悪い結果も少なくなります。

特に難しい点は、7番目の内容でしょう。
他者から攻撃されたり、傷つけられると、
通常はやり返します。

しかし、ここは忍耐です。
悪い結果が現象化して、負の原因を解消するいい
チャンスなのです。

いわゆる悪業、カルマというものは、
結果として現れてはじめて解消します。

もし、やり返すとしても、あとで返ってきても
問題ないようなやり方でやり返しましょう。

悪い結果を結ぶ負の原因を、さらに積んではいけません。
繰り返しになってしまいます。

難しいですが、実践していきましょう。

25、他者をたてて自分を低い位置に置いて

生きていくのが最上

現代の複雑な人間関係を、うまくのりきっていくには、
他者をたてて、自分を低い位置に置いて生きていくのが最上です。
他者をたてて、自らは謙虚にへりくだるのです。

他者をたてると、原因と結果の法則により、
後ほど、あなた自身が周りにたてられるようになります。

自らが謙虚でへりくだっていると、
原因と結果の法則により、後ほど、周りの人達は、
あなたに対して謙虚にへりくだるようになります。

このように、他者をたてて、
自らは謙虚にへりくだれば、
原因と結果の法則により、結局は、あなた自身が、
周りにたてられ、周りに謙虚にへりくだられる存在と
なるのです。

そして、相手をたててあげることは、
相手のためにもなりますので、どちらもメリットがある、
いわゆるWIN-WINの関係となります。
両者がうまくいくのです。

他者をたてて、自分を低い位置に置いて生きていきましょう。

おわりに

PDF版無料レポート第3巻
＜原因と結果の法則を使いこなそう＞
は、いかがでしたか。

いままでのメルマガをまとめて、編集したものになりました。
何かのお役にたてれば幸いです。
また、いろいろと作っていきます。

それでは、またお会いしましょう。

牧村 和幸